

就 活

就職に役立つ最新採用動向

早期化受け 23年度就職戦線スタート 内定を勝ち取れ!!

企業業績は依然厳しい状況が続いており、新卒採用に慎重な姿勢を見せる一方、就職戦線は早期化している。これまで内定を取れなかった4年生や留年生、既卒者のリベンジ就活も加わり、23年度の就職戦線は混戦必至の情勢となっている。そこで一足早く、23年度の採用動向を紹介する。

23年度企業採用動向

11月～12月に実施したくまもと経済就職情報部デビューのアンケート調査をもとに、23年度の採用計画についてみると、内定告知の時期は「4月以前」が23.2%で2年連続トップ。5月は21.7%、6月は20.2%の企業が内定を告知するなど、4月から6月で内定告知はピークを迎え、就職戦線の早期化が進んでいる。半面9月以降にも8.7%の企業が内定告知を行っている。

また、採用計画についてみると、前年と比べ「変わらず」と答えた企業が約6割を占めた。12%が「早める」と回答。「未定」は前年比6.9%増の22.5%ある。

また採用予定数は「ほぼ同数」が56.8%。増員を考えている企業が2.7%だったのに対し、減員を検討している企業が6.8%あり、現段階では県内求人数は減少の方向だ。また、24%以上が「未定」と回答している。不透明さが増す景気の先行きなどを反映して、こうした「未定」企業が採用に慎重になりつつあることに留意が必要だろう。

それでは、県内における具体的な採用動向をみていこう。

肥後銀行は前年並みの100人採用

「金融機関」

肥後銀行は前年並みの100人程度を予定。県外での選考から始まり、県内学生の選考は4月～5月前後を予定。熊本ファミリー銀行は1月中にも採用数を固める。熊本第一信用金庫は3月から会社説明会を開始。採用は5人程度を予定している。熊本中央信用金庫、熊本信用金庫、熊本県信用組合は未定。大熊本証券は前年並みの7人の採用。

生命保険の明治安田生命熊本FC営業室は、企業や官公庁などオフィス中心の営業活動を担当する法人営業職で前年並みの30人程度を予定。1月から会社説明会を開始する。日本生命保険も「法人職域ファイナンシャルコーディネーター」を採用、1月から会社説明会を開催する。

えがおが総合職など50人を採用

「メーカー」

医薬品・ファインケミカル分野では、再春館製薬所が60人に増やす。1～3月に熊本など4都市で選考会を予定している。県内学生は特に狙い目。新型インフルエンザワクチンの約4割を生産している化学及血清療法研究所は総数50人の採用を予定、今年も人気を集めそう。「えがおの黒酢」などの健康食品の通販で急成長しているえがおは将来の幹部候補となる総合職など50人を採用する。阿蘇製薬は大卒1人を含む5人程度を予定。2月に選考会を実施する。ブライダル小物・製造販売のコンフェッティは若干名を計画。

ヒライは前年並みの大卒15人

「食品関連」

食品関連では、お弁当・惣菜等のヒライが前年並みの大卒15人程度を採用。2～4月に熊本市と福岡市で説明会を開催する。居酒屋十徳やを展開するジェイアンドジェイは5人。調味料のフドーダイは3人程度。熊本製粉は大卒10人程度を予定。オニザキコーポレーションは2人程度の採用を検討中。熊本県酪連は前年並みの6人。



12月に開かれたジョブカフェイベントには約900人が出席し、3年生の就職戦線がスタートした

コスモス薬品は前年並みの300人

「流通」

小売業では九州、中国、四国でドラッグストアを展開、将来的には調剤薬局の併設も視野に入れているコスモス薬品は前年並みの300人を予定。勤務地をいとわないナショナル社員に対して、リージョナル社員制度では、熊本出身の場合、九州エリア内の勤務を希望できる。また熊本など北部九州でホームセンターグッデイ60店舗を展開する嘉徳無線ホールディングスも積極採用する。県内でディスカウントストアを積極的に店舗展開しているロッキーは、10人に増やす。TSUTAYAなどを展開するニューコ・ワンは前年並みの7人程度を採用する。ホームインブルーメントひろせ(HIヒロセ)は熊本・大分・宮崎・福岡などでの勤務で、採用人数は前年並みの10人程度。衣料品のペイブルックは前年並みの5人程度。

ドコモショップ展開のドウ・ヨネザワは派遣社員を正社員に切り替える中で、今年は10人程度の採用。ソフトバンクモバイル代理店及び不動産・飲食業のハイコムは前年並みの7人。

テンガイは30人採用を予定

「アミューズメント」

岩下兄弟、上野商事、福北興業などは積極採用。岩下兄弟は、店舗運営スタッフのみならず、将来の管理職候補として総務・経理・人事・企画職など、幅広い職種で募集している。大卒採用予定は10人前後。上野商事は5人。県内だけで店舗展開、スーパー、ゴルフ練習場も経営している。福北興業は近年、人事評価制度を作成し、社員が公平に業績評価される仕組みを導入。定着率も向上している。大劇は高卒中心の採用。九州や関東で展開しているテンガイは30人を予定。創業7年で売上高1,000億円もの急成長を遂げた同社は「新卒中心の会社創り」に注力している。サービス業は県内でも採用に意欲的な企業が多い業界なので、よく企業研究し、エントリーしておく必要あり。

熊本県警は100人規模で採用

熊本県(大卒程度)、熊本市(上級職)

例年5月に申込受付、6月下旬に試験を実施する。自衛隊は4月から幹部候補生試験の申込を受け付ける。熊本県警は今年も100人規模を募集する。

ここに紹介した企業の中には、採用内容に今後変更がある場合があります。

多様な業種・職種に視野拡大

景気の先行きは不透明なままで、企業は採用を絞り込む傾向が続いている。採用活動の開始時期が早まる一方で、内定出しには慎重な企業が増加。また学生の大企業志向が強く、中小企業の採用枠が満たされていないというミスマッチもある。

岐路に立つ学生に、今試されているのは採用企業の情報収集能力だ。まずは先入観を持たずに、多様な業種・職種に視野を広げ可能性を探ること。そして自身の志望対象企業と受験チャンスの幅を広げることが大切になる。各企業の採用情報をしっかりチェックし、内定を勝ち取る。



メモを取りながら企業のアドバイスを受ける学生

この講座を受講すると就職がグット近づく! くまもと経済就職スクール

受講料無料

0円

第2新卒・既卒・中途の皆さんの正社員就職を支援します

くまもと経済就職情報部デビューが未就職者を対象とした就職スクールを開校します。企業の求める人材像や目的をよく理解し、仕事に必要なパソコン・営業スキル、簿記などを身に付けこれからの就活に役立てていただきたいと思います。

基礎演習科
スタート!
2月8日

「取得できる資格」

- Word、Excel、PowerPoint3級
- ITパスポート検定
- 販売士2級
- 日商簿記3級
- ファイナンシャルプランニング技能士3級
- ビジネス実務マナー検定3級
- コミュニケーション検定初級 など

基金訓練開催!!

基礎演習コース/6ヶ月コース 平成23年2月8日～8月8日 ※土日祝日を除く週4日程度

訓練時間/9時30分～16時30分

受講料/無料 ※テキスト代12,861円と各種検定料は別途

募集期間/平成22年12月6日～23年1月20日

選考会/平成23年1月21日

事前説明会
(予約不要)

1月7日(金)、11日(火)、12日(水)、13日(木)、14日(金)、17日(月)、18日(火)、19日(水)、20日(木)

◎午後1時から、くまもと経済本社(熊本市紺屋町1-2-2)で開催!



くまもと経済就職情報部
〒860-8552 熊本市紺屋町1-2-2 (株)地域経済センター

TEL.096-359-7777

E-mail debut@kumamoto-keizai.co.jp

基金訓練 担当/秋田 佐藤 村上まで

※総合経済誌「くまもと経済」の持つ企業ネットワークを使って、みなさんの就活を応援します。事前説明会にぜひご参加下さい。お問い合わせ

